

Instruction manual wording for Co-Pilot Rally Watch

To be placed on the inside front cover:

この説明書の他の言語版のダウンロードは www.astopwatch.com へ。

目次

- 1.0 はじめに/クイックスタートガイド**
- 2.0 特徴**
- 3.0 ボタン機能—モード、スタート/ストップ、設定**
 - 3.1 ボタン機能—スプリット/リセット、ライト
- 4.0 時計の操作—機能モード画面図**
 - 4.1 時計の操作—有効/無効モード機能
- 5.0 時計モード—概要**
 - 5.1 時計モード—プレスタート機能
 - 5.2 時計モード—時計のプレスタート機能の設定
 - 5.2.1 時計モード—ストップウォッチ形式の設定
 - 5.3 時計モード—時計のプレスタート機能の使い方
 - 5.4 時計モード—ストップウォッチ・メモリ
 - 5.5 時計モード—ストップウォッチの使い方
- 6.0 タイマーモード—概要**
 - 6.1 タイマーモード—タイマーモード表示
 - 6.2 タイマーモード—タイマーの設定
 - 6.3 タイマーモード—プレスタート機能
 - 6.4 タイマーモード—タイマーの使い方
- 7.0 メモリ・リコール（読み出し）モード—概要**
 - 7.1 メモリ・リコールモード—ステージタイムの読み出しと修正
 - 7.2 メモリ・リコールモード—ステージデータの削除
- 8.0 ストップウォッチモード—概要**
 - 8.1 ストップウォッチモード—時間形式の設定
 - 8.2 ストップウォッチモード—ストップウォッチの使い方
 - 8.3 ストップウォッチモード—ラップタイムの読み出し
 - 8.4 ストップウォッチモード—ラップタイムを計算機能に送る
- 9.0 時刻モード—表示**
 - 9.1 時刻モード—時刻/日にちの設定
- 10.0 デイリーアラームモード—デイリーアラーム表示**
 - 10.1 デイリーアラームモード—デイリーアラーム時間の設定
- 11.0 フライトモード—概要**
 - 11.1 フライトモード—表示
 - 11.2 フライトモード—セクター単位と距離の設定
 - 11.3 フライトモード—フライトストップウォッチの使い方
 - 11.4 フライトモード—セクターとフライトのデータの見方
- 12.0 フライトログモード—概要**
 - 12.1 フライトログモード—表示
 - 12.2 フライトログモード—フライトとセクターのデータ閲覧
 - 12.3 フライトログモード—フライトとセクターのデータ調整

12.4 フライトログモード-フライトとセクターのデータ削除

13.0 速度、距離、時間(S,D,T)計算モード-概要

13.1 S,D,T 計算モード-計算の設定

13.2 S,D,T 計算モード-読み出し、調整、削除

14.0 バッテリーの交換

15.0 仕様

1.0 はじめに/クイックスタートガイド

この度は、この特徴のある腕時計をご購入いただき、誠にありがとうございます。この腕時計では、ご自分に必要な機能だけを選んで自分だけのオリジナル仕様を設定することができます。この腕時計に備えられている機能は、本来ラリー・コドライバーやパイロット向けに設定されているものですが、運動競技やヨットなどのほとんどの計測にご活用いただけます。

この腕時計は、厳しい環境にも耐えられるように製作されており、5m 防水を施しております。

- 腕時計をご使用の前に説明書をお読みください。
- バッテリー交換以外に腕時計の裏蓋を開けないでください。
- 過酷な環境の中に腕時計を長時間さらすことはお避けください。
- 時々、柔らかい布で腕時計を拭いてください。
- 腕時計を使用しない時は乾燥した場所で保管してください。

クイックセッティングで時計を使ってみましょう:

1. 時刻モードのページ (9.1)で 日時と 12/24 時間表示を設定します。
2. 時刻モードで、必要のないモードを削除します。(4.1)
3. ご自分に必要なモードでお好みに設定します:
 - i) クロノタイム: プレススタート機能 (5.0 から 5.2)、時間形式機能 (5.2.1)。
 - ii) タイマーのプレススタート機能 (6.3) ターゲットタイムの設定とタイマー連携機能 (6.2)
 - iii) ストップウォッチ: 時間形式機能(8.1)
 - iv) デイリーアラーム: アラームの設定 (10.1)
 - v) フライトモード: 距離単位の設定 (マイル、km、ノット) と必要時のセクター距離の入力(11.2)
4. バックライト機能の使い方を決める (3.1)
5. アラームのお知らせ方法 (ブザーまたは点灯) を決める (10.1)

2.0 特徴:

下記のような内容をユーザーが独自に設定できるのはこの腕時計だけしかありません:

- 必要のない機能を停止する。必要になった時には、また設定することも可能。
- プレススタート機能が3種類: 次分スタート、時差スタート、時刻設定スタート。

- クロノタイムメモリにはステージタイムを 30 本まで保存。メモリ・リコールで、ステージタイムとステージ終了の時刻の他、累積タイムも読み出すことができます。シンプルなステージタイムの修正機能つき。ステージ 0 で、タイムペナルティを入力することができます。
- カウントダウン/アップのタイマーの事前設定を 6 種類セットすることができます。クロノタイムや各タイマーセット時刻とリンクさせたり、それぞれを単独で機能させることもできます。クロノタイムとリンクさせた時は、クロノタイムが再スタートしても、タイマーの連携は継続します。
- タイマー、メモリ、時刻の設定とタイマーの修正は、それぞれの数値を選んで軽く押しながら増やしたり減らしたりするだけと簡単操作。
- ストップウォッチは、累積、スプリットタイムと共に 99 回分メモリ。
- 速度、時間、距離(入力)、開始・終了の時刻と日にちを含むフライト時間記録のデータを 20 セクターまで記録。
- 最新 9 回分のフライトの全セクター詳細を含むフライトログを 99 フライトまで記録するほか、セクターデータの修正も可能。
- 時刻、距離、速度の計算。いずれか 2 種類の数値を入力して計算。

3.0 ボタン機能—モード、スタート/ストップ、設定

モード[M]

- モード選択
- 設定中に数値を減らす
- 時刻モードで押し続けると、モードの有効/無効設定

スタート/ストップ[S/S]

- クロノタイム・ストップウォッチ、各ストップウォッチ、タイマー、フライトタイマーのスタート/ストップ
- 設定中に数値を増やす
- リコール、ストップウォッチ、フライトログ、計算モード時のメモリ記録のスクロール/読み出し
- デイリーアラームモードで使用するつまみ

セット[S]

- 約 2 秒間押し続けると設定を起動
- 設定中、次の項目に移動する
- 最後の項目を調整した後、設定モードを終了させる
- タイマーモード時にタイマーを選択
- フライトログモード時に、セクターデータの読み出しを行う
- 速度、距離、時間の計算モード時に、計算設定の種類をスクロール

3.1 ボタン機能—スプリット/リセット、ライト

スプリット/リセット[S/R]

- クロノタイムとストップウォッチモード時に、スプリットタイムを計測
- クロノタイムモード時にステージタイムをメモリに保存
- 設定を終了

- クロノ/タイム、ストップウォッチモード時に、スプリットタイムを0に戻す
- タイマーが動いていない時に、タイマー設定を再読み込み
- ステージメモリ、フライトログメモリのセクター記録を逆方向で検索
- 速度、距離、タイム計算モード時に、計算後に変数をリセット
- フライトモード時、次のセクターに移る

ライト[EL]

- 時刻モードの設定中に押すと、12/24 時間表示を切り替え
- バックライトを 10 秒間点灯
- 2 秒押し続けると、ナイトモードを操作可能にする

ナイトモード: ナイトモードが機能している時は、どのボタンを押してもバックライトが 10 秒間点灯したままになります。

4.0 時計の操作- 機能モードの画面図

時計の操作

- 上の図にある 9 つのモード画面をスクロールするには、[M]ボタンを押します。ボタンを押し続けると、スクロールが速くなります。各モードを選択した時には、ピー音が鳴ります。クロノタイムモードでは、ピー音の高さが他とは異なるため、スクロール中はこのモードになった時に音で識別することができます。
- タイマーまたはメモリのリコールモードに 3 秒以上アクセスしている時は、[M]モードを押すとクロノタイムモードに戻ります。

4.1 時計の操作- モード機能を有効/無効にさせる

この時計には 9 つのモードがあります (4.0 参照)。これらはすべて、時計の電源が入っている際に機能します。ユーザーは、必要のない時には機能を停止させたり、その後必要になった際に再び使用できるように設定することができます。この設定は、時刻モード以外のすべてのモードで行うことができます。

モードを無効にさせるには:

- 時刻モードで [M]ボタンを 2 秒押し続け、設定画面を選択します。
- 図に表している"クロノタイム"から、順番に各モードの画面が現れます。[M]ボタンを押して、無効（または有効）にするモードの画面までスクロールします。
- モードを無効にするには、[S/S]ボタンを押して ON という文字を点滅させます。
- 無効になった場合には、[S/S]ボタンを押すと OFF という文字が点滅します。
- 時刻モードに戻るには、[S] か [S/R] のボタンを押します。

注:

- デイリーアラームモード以外は、モードが動いている場合はモードを無効にさせることはできません。

- クロノタイムモードを無効にした場合は、メモリリコールも無効になります。同様に、フライトモードを無効にした場合は、フライトログも無効になります。
- タイマーモードを無効にしてもタイマー1がクロノタイムとリンクしている場合は、クロノタイムがスタートした際、自動的にタイマーモードも復活します。

5.0 クロノタイムモード - 概要

クロノタイムモード機能

- このモードは同じ画面に、時刻とストップウォッチ機能があります。ストップウォッチはプレスタート時間から（又はプレスタート時間へ）カウントダウンし、選択したプレスタート時間が経過又はプレスタート時間になると、自動的にストップウォッチがスタートします。プレスタートには3つの機能があります。(5.1参照)
- ストップウォッチがストップしていても、スプリットタイムを取ることができます。経過時間（ステージタイム）を表示する他、ストップした時点（その日のフリーズタイム）の時刻も表示します。時刻とステージタイムの数字は、データがメモリに入力されるまで点滅します。メモリにはタイム（ステージ）を30まで保存することができます。
- 時間計測の単位は1/100秒、1/10秒、1秒、1/10000時間の4種類から選ぶことができます。

クロノタイムモード表示

- 文字画面で表示されるのは：
 - 選択されているプレスタート機能
 - 現在のステージ/メモリ番号
 - タイマー状況：リンクされているタイマーには下線、動いているタイマーは点滅
- 中央の画面では、プレスタートのカウントダウン状況、その後ストップウォッチの計測を表示
- 下の表示では、時刻を表示（フリーズした場合は点滅）

5.1 クロノタイムモード- プレスタート機能

クロノ・プレスタート機能

- ストップウォッチはプレスタート時間から（又はプレスタート時間へ）カウントダウンし、選択したプレスタート時間が経過又はプレスタート時間になると、自動的にストップウォッチがスタートします。3つのプレスタート機能の設定方法は5.2をご参照ください：
- 次分スタート機能
 - [S/S] ボタンを押すと画面では次の分までカウントダウンを始め、次の分になるとストップウォッチがスタートします。

- 例えば、11:54:32に[S/S]を押すと、画面は秒単位が0になるまでカウントダウンを始め、11:55:00になるとストップウォッチがスタートします。

- **時差スタート機能**

- 時差スタート機能を選択します。事前設定させた時間に遅れてスタートさせることができます。即時にスタートさせる0から、59分59秒後までの何分何秒でも選ぶことができます。(5.2参照)
- [S/S] ボタンを押すとストップウォッチが時差スタート時間になる0までカウントダウンし、その後ストップウォッチがスタートします。

- **時刻スタート機能**

- スタートタイム機能を選び、ストップウォッチをスタートさせたい時刻(時・分・秒)を入力します。
- [S/S]ボタンを押すとストップウォッチが設定した時刻までカウントダウンし、その後ストップウォッチがスタートします。

5.2 クロノタイムモード- クロノ・プレスタート機能の設定

クロノ・プレスタート機能を設定するには

- クロノタイムモードで、[S] セットボタンを約2秒間押し続け、設定モードを読み出します。設定モードでは、[S]ボタンで3つのプレスタート機能をスクロールします。
- セッティングモードでは、最初に **NEXT MINUTE** が現れ、ON(選択されている場合)またはOFF(選択されていない場合)が点滅します。ONとOFFを切り替えるには、[S/S] スタート/ストップボタンを押します。
- 上記でOFFの時に[S]を押すと、**DELAY START(時差スタート)**に移ります。ONとOFFを切り替えるには、[S/S]を押します。ONが選択された場合、[S]を押すと、時差スタート時間の設定に移ります。点滅している数字は、秒です。[S]を押すと、分の数字に移ります。[S/S]を押すと数字が増え、[M]を押すと数字が減ります。
- 上記でOFFの時に[S]を押すと、**START TIME(時刻スタート)**に移ります。[S]ボタンを使って、秒、分、時の順番にスタート時間の入力をしていきます。数字を増やすには[S/S]、減らすには[M]を使います。
- [S/R]を押すと、プレスタート機能の設定を終了します。

注意: 一つのプレスタート機能をONにすると、自動的に他の2つの機能が動かなくなります。3つの機能をすべてOFFにした場合は、デフォルトの設定は、次分スタートになります。

5.2.1. クロノタイムモード-ストップウォッチ形式の設定

時間形式

- ストップウォッチの時間形式（単位）は、1/100 秒、1/10 秒、1 秒、1/10000 時間のいずれかに設定することができます。

時間形式を設定するには

- プレスタート機能を選んで設定した後、[S]を押して TIME FORMAT 画面にします。すべての数字が点滅します。
- [S/S] か [M] ボタンで、図にある通りに希望の時間形式を選びます。
- [S] ボタンを押すと終了します。

注: デフォルトでは 1/100 秒に設定されています。

5.3 クロノタイムモード-クロノ・プレスタート機能の使い方

クロノ・プレスタート機能を使うには

- [S/S] スタート/ストップボタンを押すと、プレスタートのカウントダウンが始まります。カウントダウン中にプレスタートを中止するには、[S/S] を押します。これで、カウントダウンは再スタートできる状態にリセットされます。
- プレスタートのカウントダウンが 0 になると、自動的にストップウォッチがスタートします。
- プレスタートのカウントダウンのブザー音は、タイマーと同じ音です(6.3 参照)

5.4 クロノタイムモード-ストップウォッチメモリ

ストップウォッチ機能

- クロノタイムモードのストップウォッチは、一つの画面で経過時間、スプリットタイムの累積、経過時間の累積を表示します。
- 各ステージの経過時間の合計は([S/ST] スタート/ストップボタンとステージ終了時刻を同時に押した後に)、[S/R] スプリット/リセットボタンを押せばメモリに保存することができます。
- メモリにはステージタイムを 30 まで保存することができます。計測したタイムが 30 を超えると、FULL というメッセージが現れます。
- この 30 の各ステージでは、下記のデータを見ることができます:
 - 現在のステージタイム: ステージの累積タイムの合計
 - ステージ終了時刻: ステージタイムが止まった時の時刻
 - ステージタイムの累積: 全ステージタイムの累積

注: 保存されたステージタイムは、リコールモードで見ることができます。現在のステージタイムは調整することができ、自動的に累積タイムも調整されます。タイムパネルティは、stage 0 に入力することができます。

5.5 クロノタイムモード-ストップウォッチの使い方

- [S/S] を押すとプレスタート機能(5.3)が動き、ストップウォッチがスタートします。

スプリットタイムを見るには

- ストップウォッチが計測をしている間、[S/R] を押すとスプリットタイムを見ることができます。このスプリットタイムは 10 秒間表示され、時刻表示が点滅します。
- 本体内ではストップウォッチの計測は継続されており、10 秒経つと累積タイムの表示に戻ります。

ストップウォッチを止めるには

- ストップウォッチが計測中、[S/S] を押すと計測を停止します。
- 画面ではステージ番号、ステージタイム合計、ステージ終了時刻を表示します。時刻とステージ番号は点滅します。

現在のステージタイムをメモリに保存するには

- ストップウォッチが停止した後、[S/R] スプリット/リセットボタンを押すと、現在のステージタイムがメモリに保存されます。
- ステージタイムがメモリに保存されると、ステージ番号が 1 つ増え、時刻の点滅が止まります。[S/S] を押して次のステージが始まるまで、前のラップタイムは残ります。メモリリコールの詳細については、5.4 をご参照ください。

注: ストップウォッチが 23 時間 59 分 59.99 秒に達すると、計測は 0 に戻って継続します。

6.0 タイマーモード- 概要

タイマーモード機能

- タイマーモードには、6 つの独立したタイマーが入っています。それぞれのタイマーには下記の機能があります:
 - 各タイマーでプレスタート機能を 3 つのうちから選ぶことができます。
 - タイマーから次のタイマーにリンクさせて、連続して始動させることができます。例えば、タイマー1 をタイマー2 にリンクさせた場合、タイマー1 が 0 になると、画面では自動的にタイマー2 の計測を始めます。
 - タイマーは、事前に設定したターゲット時間へカウントダウンまたはカウントアップさせることができます。
- タイマー1 には、クロノタイムモードにリンクさせる機能もあります。この機能を選択すると、クロノタイムでストップウォッチがスタートすると同時にタイマー1 もスタートします。ただし、クロノタイムのストップウォッチが停止しても、タイマーの連携は終了するまで続きます。
- 計測単位は 1 秒で、ターゲット時間は、0 から 23 時間 59 分 59 秒の間で設定できます。

リンクについての注

- 一つのタイマーが動いている間は、他のタイマーにリンクさせることはできません。
- 一つのタイマー(例タイマー2)がその前のタイマー(例タイマー1)からリンクされている場合、タイマー2は手動でスタートすることはできません。6つのタイマーがすべてリンクされている場合は、手動でスタートさせることができるのはタイマー1だけとなります。
- タイマー6からタイマー1まですべてのタイマーをリンクさせると、リピートしてカウントダウンをします。
- リンクされているタイマーが0にセットされていても、連携はそのまま有効となります。
- 一つのタイマーのターゲットタイムは、そのタイマーが動いていなければ変更することができます。このタイマーが動いているタイマーにリンクしていても、変更は可能です。

6.1 タイマーモード- タイマーモード画面

タイマーモード画面

- デフォルトの画面は、現在動いているタイマーです。他のタイマーが動いていなければ、タイマー1が表示されます。
- 画面では下記の情報を表示します:
 - 文字体の画面ではタイマー番号、カウントアップかカウントダウンの状況、リンク状況とプログラム可能なターゲットタイムを表示します。
 - 中央の画面は、時間の計測を表示します。
 - 下の画面は、時刻を表示します

注: 6つのタイマーから一つを選ぶには、隣の図の通りにタイマーモードで [S] を押しスクロールさせて、希望の画面を読み出します。

6.2 タイマーモード- タイマーを設定する

タイマーを設定するには

- タイマーを選択し(タイマー1とします)、[S] セットボタンを使って設定画面にスクロールします。
- [S] セットボタンを約2秒押し続け、設定画面(タイマー1の設定とします)を選択します。分の数字が点滅します。
- 再び [S] ボタンを押して、設定する数字に移動します(反対側の図を参照)
- 点滅した数字が選択されている間、[S/S] ボタンを押すと数字が増え、[M] ボタンを押すと数字が減ります。注: ボタンを押しっぱなしにすると、変更する分量が加速します。
- **各タイマーの連携を設定するには**
 - ターゲットタイムを設定する
 - カウントダウンかカウントアップを選ぶ
 - 次にリンクするタイマーを選ぶ
 - プレスタート機能を選んで設定する(6.3参照)
 - クロノリンク機能を選ぶ(タイマー1のみ)

- 注: タイマー1にはクロノタイムモードにリンクさせる機能もあります。この機能を選択した場合、クロノタイムでストップウォッチがスタートすると同時にタイマー1がスタートします。ただし、クロノタイムのストップウォッチが停止しても、タイマーの連携は終了するまで続きます。
- タイマー1がクロノタイムとリンクし、タイマー6がタイマー1とリンクしている場合は、クロノへのリンクが優先されます。

6.3 タイマーモード- プレスタート機能

プレスタート機能:

- リンクされていないタイマーでは、4つのプレスタート機能を使うことができます。次分スタート、時差スタート、即時スタート、時刻スタートがあり、デフォルトでは、即時スタートに設定されています。

プレスタート機能を選ぶには(リンクされていないタイマーのみ):

- [S] で希望のタイマーを選びます。
- [S/R]スプリット/リセットボタンを2秒間、INSTANT START（即時スタート）機能が現れるまで押し続けます。[S/S]と[M]でプレスタート機能をスクロールします。
- [S/R] ボタンを押してタイマー表示に戻り、プレスタート時間を入力します。

時差スタートとスタート時間（時刻）スタートを設定するには:

- [S] スタートボタンで、希望のタイマーまでスクロールします。その後、[S] ボタンを押したままにして、設定モードにします。
- DELAY START の点滅文字が現れるまで[S]を押し続けます。
- 秒の数字が点滅します。まず秒の数値を設定し、それから[S] を押して分の数字に移ります。
- 選択した数字が点滅している間は[S/S] スタート/ストップボタンを押すと数字が増え、[M] ボタンを押すと数字が減ります。注: ボタンを押さばなしにすると、変更する分量が加速します。即時スタートを選ぶ場合は、すべての数字がゼロに設定されていることを確認してください。
- 時刻スタートを選ぶには、START TIME が現れるまで[S] ボタンを押し続けます。秒の数字が点滅します。その後、時刻のプレスタートを設定するには、上記の手順に従ってください。
- [S/R] スプリット/リセットボタンを押すと、タイマー設定の画面を終了し、タイマーモードに戻ります。

タイマーアラームの音:

アラームは 10 分でアラーム音が鳴る/バックライトが点滅し、その後、5、4、3、2、1 分の間隔で鳴る/点滅します。その後、最後の 10 秒間までは 10 秒間隔で鳴る/点滅します。それから、毎秒、鳴り/点滅し、0 になると 3 秒のアラーム音が鳴り/点滅します。

注意: アラームの信号 (音またはバックライト) はデイリーアラームの設定 (10.1) で選ぶことができます。

6.4 タイマーモード- タイマーの使い方

タイマーをスタート/ストップさせるには

- タイマー1がクロノタイムにリンクされていない場合や、そのほかのタイマーが前のタイマーからリンクされていない場合は、[S/S] スタート/ストップボタンを押します。プレスタートの連携が始まり、プレスタートがゼロになるとタイマーがスタートします。
- 動いている、リンクされている、リンクされていない、すべてのタイマーでは、選択されているタイマーをストップさせるには [S/S] ボタンを押します。

ターゲット時間を再読込するには

- タイマーがストップし、ターゲット時間に達する前にターゲット時間の数字を再読込するには、[S/R] スプリット/リセットボタンを押します。

注: 前のタイマーからリンクされているタイマーが動いていても、リンクされているタイマーのターゲット時間は変更することができます。

リンクされているタイマーの動き方

- タイマー1がクロノタイムモードにリンクされている場合、クロノタイムのストップウォッチがスタートするとタイマー1がスタートします。
- 2つ以上のタイムがリンクされている場合は、次のタイマーは自動的にスタートします。
- リンクされている前のタイマーがゼロに達すると、タイマー6からタイマー1までを含むリンクされているすべてのタイマーは、カウントダウンをリポートします。

7.0 メモリ・リコールモード- 概要

ステージリコール機能

- メモリ・リコールモードでは、クロノタイムモードから保存されたステージタイムを30ステージ分まで表示させます。
- 各ステージタイムは修正することができ、累積タイムは自動的に更新されます。
- 各ステージは削除することができ、累積タイムは自動的に更新されます。
- ステージ0でタイムペナルティを入力することができ、累積タイムは自動的に更新されます。

メモリ・リコールモードの表示

- 最後に走行したステージが表示されます。
- 文字画面では、ステージ番号とステージの終了時刻を表示します。
- 中央の画面ではステージタイムを表示します。

- 下の画面では、累積タイムを表示します。

7.1 メモリ・リコールモード- ステージタイムの読み出しと修正

ステージタイムを読み出すには

- リコールモードに入ると最後のステージタイムが表示されます。
- [S/S]スタート/ストップボタンを押すと前のステージに、[S/R] スプリット/リセットボタンを押すと後ろのステージにスクロールします。[S/S] ボタンを押すと、直接ステージ0に移ります。

現在のステージタイムを修正するには

- 上記の手順でスクロールし、修正するステージを選択します。それから[S]セットボタンを約2秒間、数字が点滅するまで押し続けます。
- [S] セットボタンを押して、変更する数字を選択します。
- 数字が点滅している間は、[S/S] スタート/ストップボタンを押すと数字が増え、[M] ボタンを押すと数字が減ります。注: ボタンを押したままにすると、変更する分量が加速します。
- [S/R] スプリット/リセットボタンを押すと、リコールモードに戻ります。

7.2 メモリ・リコールモード- ステージデータを削除する

このモードでは、各ステージまたは全ステージを削除することができます。方法は下記の通りです:

[S/S] か [S/R] ボタンを押して、削除するステージを選択します。

[M] モードボタンを押しながら[S/R] スプリット/リセットボタンを、DEL RECORD?というメッセージが出るまで押し続けます。メッセージはその後、"-----" を表示します。

注意: 一つのステージが削除された後は、メモリ内のステージ番号が一つ減り、各ステージの累積タイムは再計算されます。

- **すべてのステージを削除するには、**[M] モードボタンを押しながら[S] セットと[M] モードボタンを、DEL ALL RECORDS? というメッセージが出るまで押し続けます。その後、"-----"というメッセージが現れます。
- メモリ・リコールモードは2行の画面を表示して、メモリが空であることを示します。

8.0 ストップウォッチモード- 概要

ストップウォッチ機能

99のメモリを保存し、3行画面で表示するストップウォッチです。
ラップタイムと、スプリットタイムの累積も計測します。
このモードには、現在のラップタイムをスピードモード(13.1)に送って、速度や距離を計算する機能があります。
時間計測の単位は、1/100秒、1/10秒、1秒、1/10000時間の4種類から選ぶことができます。

ストップウォッチモード画面

文字画面は、前のラップタイムとラップ番号を表示します。
中央の画面は、ラップタイムの累積を表示します。
下の画面は、計測している時間の現在のラップを表示します。

8.1 ストップウォッチモード- 時間形式の設定

時間計測の単位は、1/100秒、1/10秒、1秒、1/10000時間の4種類から選ぶことができます。

時間形式を設定するには

ストップウォッチが動いておらず、すべての数字がゼロになっているかを確認します。
[S] セットボタンを押し続けて、TIME FORMAT(時間形式)の表示にします。
[S/S] スタート/ストップか [M] モードボタンを押して、隣の図にある通りの時間形式を選びます。
[S] か [S/R] ボタンを押して、時間形式の設定を終了します。

注: デフォルトでは1/100秒に設定されています。

8.2 ストップウォッチモード- ストップウォッチの使い方

ストップウォッチをスタート・ストップさせるには

ストップウォッチがリセットされてすべての数字がゼロになっている時に、[S/S] スタート/ストップボタンを押すと、計測が始まります。
再び[S/S] ボタンを押すと、計測がストップします。画面には、経過時間が表示されます

ラップタイムを取る、保存するには

ストップウォッチが動いている時に[S/R] スプリット/リセットボタンを押すと、ラップタイムを取って、そのタイムを保存します。
ラップタイムは、点滅数字で5秒間表示されます。

本体内ではストップウォッチの計測は継続されています。5秒経つと、画面は計測中の時間表示に戻ります。

ストップウォッチをリセットするには

- [S/S] を押してストップウォッチをストップさせます。
- メモリに保存されているすべてのデータを見て記録します。(8.3 参照)
- [S/R] ボタンを押してストップウォッチをリセットし、メモリからすべての内容を消去します。

注: ストップウォッチが 23 時間 59 分 59.99 秒まで計測すると、ゼロから再び計測を始めます。

8.3 ストップウォッチモード- ラップタイムのリコール (再読み出し)

- [S] セットボタンを押して、ベストラップとラップタイムを表示させます。
- それから[S/S] ボタンを押すと、隣の図の通りに、他のラップタイムを読み出していきます。([S/S] ボタンを押しっぱなしにすると、ラップタイムのスクロールが速くなります)
- リコールを行っている間に[S] ボタンを押すと、ストップウォッチ表示に戻りません。
- メモリに保存されたデータは、ストップウォッチがリセットされると消去されます。

8.4 ストップウォッチモード- ラップタイムを計算機能に送る

- [S/S] スタート/ストップボタンを押して、ストップウォッチを止めます。
- [M] モードボタンを約 2 秒間、画面が計算モードに切り替わるまで押し続けます。ラップタイムは、下の画面に表示されます。
- 速度や距離の計算方法は、13.1 をご参照ください。

注: ラップタイムを送ると、その都度、別々の計算を行います。各セッションで 9 の計算を行うことができます。(13.0 参照)

9.0 時刻モード- 表示

- このモードでは、日・曜日を含む時刻を表示します。

時刻モード表示

- 文字の画面は、曜日表示します。
- 中央の画面は、時刻を表示します。
- 下の画面は、日・月を表示します。

注: 時刻モードを無効にするには、4.1 をご参照ください

9.1 時刻モード- 日・曜日を設定する

- 時刻モードで、[S] セットボタンを、秒の数字が点滅するまで押し続けます。

- [S] ボタンを押し続けてスクロールし、反対側の図のように変更する設定を選びます。設定できる内容は下記の通りです：
 - 時刻と日にち
 - カレンダーの形式 (日・月または月・日表示)
 - 12 または 24 時間表記
- 点滅している数字が選択されている間、[S/S] スタート/ストップボタンを使うと数字が増え、[M] ボタンで数字が減ります。注: ボタンを押したままにすると、変更する分量が加速します。
- [EL] ライトボタンを押すと、12/24 時間表記を変更します。
- [S/R] スプリット/リセットボタンを押すと、設定を終了し時刻モードに戻ります。

10.0 デイリーアラームモード- デイリーアラーム表示

デイリーアラームモード機能

- [S/S] スタート/ストップボタンを押すと、アラームを ON または OFF に切り替えます。アラームが設定されている場合は、画面に(((・のマークが表示されます。
- 設定されたアラーム時間になると、60 秒間、ブザー音が鳴るか画面のライトが点滅します。
- アラームが鳴っている間は、どのボタンを押してもアラームが止まりません。

注: アラームモードで選択されたアラーム信号は、その他のすべての関連モードにも適用されます (10.1 参照)。

デイリーアラームモード表示

- 上の文字画面は、Alarm Mode と ON/OFF の状態を表示します
- 中央の画面は、デイリーアラームのセット時間を表示します
- 下の画面は、時刻を表示します

10.1 デイリーアラームモード- デイリーアラーム時間の設定

- アラームモードで、[S] セットボタンを、分数字が点滅するまで押し続けます。
- [S] ボタンを押し続けてスクロールし、反対側の図の通り変更する設定を選びます。変更できる内容は下記の通りです：
 - デイリーアラームの時間
 - アラーム音の on/off
 - アラームライトの on/off

左の図をご参照ください。

- 点滅している数字が選択されている間、[S/S] スタート/ストップボタンを使うと数字が増え、[M] ボタンで数字が減ります。注: ボタンを押したままにすると、変更する分量が加速します。
- [S/R] スプリット/リセットボタンを押すと設定を終了します

注:

- アラーム音が OFF に設定されている場合、時計は完全に無音になります
- 音と点灯が両方とも OFF に設定されている場合、音の機能はデフォルトの ON に変わります
- これらの設定は、タイマーとクロノタイムモードにも適用されます

11.0 フライトモード- 概要

- このモードでは、各フライトに関連した時間、距離、速度を記録することができます。このデータは、フライト及びフライト中のセクターから収集することができます。
- この機能は、自動フライトデータログ付きのシンプルな航空ストップウォッチとしても使用することができます。
- 距離の単位は、マイル、キロ、ノットで計測することができます。
- フライト毎にセクターを 20 まで記録することができます
- フライトの開始と終了時刻、日にちも記録されます。
- セクター時間、距離、速度を計算し、フライト中に見ることができます。
- セクターデータは、フライト終了時に修正することができ、累積データは自動的に更新されます。
- フライトログには 99 フライトまで保存することができます。(12.0 参照)

11.1 フライトモード表示

フライトモード表示

- フライト前- 上の文字画面では、フライトモードのインジケーター、フライト番号、セクター番号を表示します
- フライト中- 上の文字画面では、現在のセクターと累積飛行時間、前のセクター時間、セクター距離と平均速度を表示します。
- 中央の画面は、現在のセクター経過時間を表示します。
- 下の画面は、時刻を表示します。

11.2 フライトモード- セクター単位と距離を設定する

フライトの単位と距離を設定するには

- フライトモードで、単位数字が点滅するまで[S]セットボタンを押して設定画面を選択します。
- [S/S] スタート/ストップボタンを押してスクロールし、KM=キロメートル、KNOT = ノット、MILE = マイル、から選択します。
- 再び[S] ボタンを押して、距離数字を点滅させます。

- セクター距離を入力するには: 点滅している数字が選択されている間、[S/S] スタート/ストップボタンを押すと数字が増え、[M] ボタンを押すと数字が減ります。注: ボタンを押したままにすると、変更する分量が加速します。
- 再び[S] を押すと、次のセクターに移り、上記のセクター距離の入力手順を繰り返します。
- [S/R] セット/リセットボタンを押すと、設定を終了してフライトモードに戻ります。

注: 距離設定の範囲は、0.0 から 999.9 マイル、0.0 から 1609.2 km 、 0.0 から 869.8 ノットです。

11.3 フライトモード- フライトストップウォッチを使う

- [S/S] スタート/ストップボタンを押して、フライトのセクター1の計測をスタートさせます。このスタート時間はメモリに保存されます。
- 計測を行っている間、下記のデータが表示されます:
 - セクター番号と累積フライト時間を、5秒間隔で交互に
 - 現在のセクター時間
 - 時刻
 - フライト中に[S] セットボタンを押すと、そのフライトでの前のセクターのデータを表示します。
- [S/R] ボタンを押すと、セクターデータをメモリに保存し、次のセクターが始まります。
- 下記の画面を12秒間ずつ交互に表示します。:
 - 画面1: セクター番号、現在のセクター時間、前のセクター時間、現在の累積セクター時間、時刻。
 - 画面2: セクター距離, 平均セクター速度, 現在の累積セクター時間、時刻。
- フライト終了時には、[S/S] ボタンを押します。'END'の文字が点滅し、ストップウォッチが停止したことを示します。
- 下記の画面が交互に現れます:
 - 画面1: セクター番号と END, 最後のセクター時間。累積セクター時間の合計、時刻。
 - 画面2: 全体の平均速度と合計距離。累積セクター時間の合計と時刻。

- [S/R] スプリット/リセットボタンを押すと、フライトログのフライトデータ機能になります (12 項を参照) フライトログのフライトデータ機能に入る前に [S/S] ボタンが押されると、ストップウォッチは最後のセクターから計測を続けます。

注: セクター距離が入力されない場合は、速度や距離のデータは表示されません。

11.4 フライトモード- セクターとフライトデータを見る

- フライト中、随時 [S] セットボタンを押すと、隣の図の通り前のセクターに遡ってスクロールします。セクターのデータは、交互に現れる画面に表示されます。
- 前のセクターをスクロール中 (上記)、[S/R] スプリット/リセットボタンを押すと、現在のセクターに戻ります。また、30 秒経過すると、画面は現在のセクターに自動的に戻ります。

距離とセクタータイムを調整するには

- 必要なセクターのデータを見るには、上記の手順に従います。[S] セットボタンを約 2 秒間押し続けて、設定画面を選択します。
- 再び[S] ボタンを押して、変更する数字を点滅させます。左の図をご参照ください。
- 点滅している数字が選択されている間、[S/S] スタート/ストップボタンを使うと数字が増え、[M] ボタンを使うと数字が減ります。注: ボタンを押したままにすると、変更する分量が加速します。

注: セクタータイムを変更すると、自動的に累積時間が更新され、セクター速度、総合平均速度にも反映されます。

- [S/R] ボタンを押すと、調整モードを終了します。

12.0 フライトログモード- 概要

フライトログ機能

- この機能では、フライトモード (11.0 参照) で作成されたデータの保存履歴を見ることができます。
- フライトログでは、下記のデータを 99 フライト分まで表示します:

- フライトのスタート時間と日にち
- フライトの飛行時間
- フライトの平均速度
- フライトの終了時間と日にち

加えて、最近から遡って 9 フライトまでは下記のセクターデータが保存されています。:

- セクターのスタート時間
- セクター時間
- セクターの距離
- セクターの平均速度

12.1 フライトログモード- 表示

フライトログモードに入ると画面では下記を表示します:

- 文字画面は、フライトの合計数を表示します。
- 中央の画面は、累積飛行時間を表示します。
- 下の画面は、現在の時刻を表示します。

12.2 フライトログモード- フライトとセクターのデータを見る

フライトデータを見るには

- フライトログモードで[S/S] スタート/ストップボタン(前にスクロールする)か[S/R] スプリット/リセットボタン(後ろにスクロールする)のいずれかを**1回押すとフライトログのレビューが始まります**。表示されるデータは、最新のフライトのものです。
- 下記の画面が交互に表示されます:
 - 画面 1: フライト番号、スタートした日、合計飛行時間。フライトの開始時間と終了時間。
 - 画面 2: フライト距離の合計、平均（全セクター）速度、フライトの開始時間と終了時間。
- [S/S] か [S/R] ボタンを押すと、レビューする他のフライトを選択します。最近の9フライトは> マークで示されます。

セクターデータを見るには

- > マークが出ている時に[S] セットボタンを押すと、セクターのレビューが始まります。セクター1のデータが表示されます。
- 下記の画面が交互に表示されます:
 - 画面 1: セクター番号、スタート時間、セクター距離、セクター時間、累積セクター時間。
 - 画面 2: セクターの平均速度、ここまでの総合平均速度、セクター時間とセクター時間の累積。
- [S/S] か [S/R] ボタンを押すと、レビューする他のセクターを選択します。
- [S] ボタンを1回押すと、フライト検索に戻ります。

注: セクター距離が入力されていない場合は、速度や距離のデータも表示されません。

12.3 フライトログモード- フライトとセクターのデータの調整

下記のフライト/セクターデータは、レビュー中に調整することができます(12.2):

- セクター詳細以外のフライトデータ: フライト開始時間、フライト時間、フライト距離。

- セクター詳細（最近の9フライト）を含むフライトデータ: フライト開始時間、セクター時間、セクター距離。

注: セクター時間と距離が変更されると、フライト時間とフライト距離は自動的に更新されます。平均、総合平均速度の数字も、再計算されます。

フライト/セクターデータを調整するには

- 変更するフライトを選択します。[S] セットボタンを約2秒間押し続けて、設定画面を選択します。
- 再び[S] ボタンを押して、変更する数字を点滅させます。左側の図をご参照ください。
- 点滅した数字が選択されている間、[S/S] スタート/ストップボタンを押すと数字が増え、[M] ボタンを押すと数字が減ります。注: ボタンを押し続けると、変更する分量が加速します。

注: フライト/セクター時間を変更すると、累積時間、対応するセクター速度、総合平均速度も自動的に更新されます。

- [S/R] ボタンを押すと、調整モードを終了します。

12.4 フライトログモード- フライトとセクターのデータを削除する

- データレビューを行っている間、各フライト/セクターデータ、またはすべてのフライト/セクターデータは、削除することができます。

各フライト/セクターデータを削除するには

- 削除するフライト/セクターが選択されている時に、[M] モードボタンと [S/R] スプリット/リセットボタンの両方押し続けて、DELETE ONE FLIGHT? を表示させます。両方のボタンを、FLIGHT xx DELETED が表示されるまで押し続けます。xxにはフライト番号が入ります。
- フライト/セクターデータの削除の後は、レビューの画面が現れます。

すべてのフライトデータを削除するには

- フライト/セクターデータレビューの間、[M] モードボタンと [S] セットボタンの両方押し続けて、DELETE ALL FLIGHTS? を表示させます。両方のボタンを----- が現れるまで押し続けます。
- フライト/セクターデータの削除の後は、データレビューの画面が現れます。

13.0 速度、距離、時間計算モード- 概要

速度、距離、時間からいずれか2つのデータを入力すると、計算機能が残りの一つの数値を計算します。計算は9回分まで残すことができます。

画面では下記のデータを表示します:

- このモードにすると、上の文字画面には Speed:Dist:Time Calc のタイトルが表示されます。
- 計算は、中央の画面で行われます。
- 下の画面は、現在の時刻を表示します

13.1 速度、距離、時間計算モード- 計算を行う

計算を行うには

- [S/S] ボタンを押して、新しい計算画面（必要な場合）をスクロールします。
- 単位の数字が点滅（上の画面）するまで[S] セットボタンを押して、設定画面を選択します。
- [S/S] スタート/ストップボタンを押してスクロールし、KM = キロメートル、KNOT = ノット、MILE = マイルから選択します。
- 再び[S] ボタンを押して距離の数字を点滅させます（中央の画面）
- セクター距離を入力するには: 点滅している数字が選択されている間、[S/S] スタート/ストップボタンを押すと数字が増え、[M] ボタンを押すと数字が減ります。注: ボタンを押し続けると、変更する分量が加速します。
- 再び[S] を押して、時間の数字に移り、[S] を押して時間数値の入力を選択します。時間を入力するには、上記の手順を繰り返します。
- 再び[S] ボタンを押して速度の数字に移ります。時間を入力するには、上記の手順を繰り返します。
- 計算の結果は、速度、距離、時間のいずれか必要な要素の単位で表示されます。
- [S/R] セット/リセットボタンを押すと、フライトモードに戻ります。
- 注: 入力に必要な数値は、2 種類だけです。
- ストップウォッチモードからラップタイムの移行については、13.2 と 8.4 をご参照ください。

計算のルール

- 速度、距離、時間のいずれかの数値を計算するには、他の 2 つの数値が必要です。
- 計算機能を使っている間に、計算する数値の種類は変更することができます。
- 3 つの数値が存在する場合、速度が変更されると、距離が再計算されます。距離が変更されると、速度が再計算されます。時間が変更されると、速度が再計算されます。
- 計算にゼロの数値があると、ERR（エラー）メッセージが表示されます。時間又は速度の数値が小さすぎる場合、OFL（オーバフロー）のメッセージが表示されます。
- エラーメッセージが出た計算は、保存されません。

13.2 速度、距離、時間計算モード- 計算のレビュー、修正、削除

- [S/S] スタート/ストップボタンを押して、9つの計算をスクロールします。
- 一番上の画面に計算番号が表示されます。

計算の数値をリセットするには

- 希望の計算が表示されている時に [S/R] スプリット/リセットボタンを押すと、すべての数値をリセットして、計算をゼロにします。

ストップウォッチモードからラップタイムを送る

- ストップウォッチモードからラップタイムが送られると、現在の計算セットが、そのラップタイムを保存します。
- その後、計算の数値設定画面が表示され、距離または速度のデータを入力することができます。
- 送られてきたラップタイムは、計算セットに設定されたそれまでのラップタイムに上書きされます。

14.0 電池の交換

時計の電源となる電池の寿命は、使用頻度にもよりますが18ヶ月程度です。ただし、電池は時計が組み立てられた際に工場で充填しているため、ご購入時からの実際の寿命は18ヶ月よりも短くなることがあります。

電池の残りが少なくなってくると、画面にバッテリー表示が点滅します。この時点で電池を交換されることをお勧めいたします。

電池の交換方法は簡単です。時計の裏にある電池の蓋をコインで開けます。この時、必ず矢印の方向に蓋を回してください。電池を交換し、(必ず真鍮のコネクターを電池の上にかぶせて、固定させてください)、防水のために必ず電池蓋をしっかり閉めてください。

対応電池は、CR2032 3v リチウムタイプで、簡単に入手することができます。

注: 電池を取り外した時は、**フライトログデータは残りますが**、それ以外の保存データはすべて失われます。保存したデータは、必ず別の方法で記録を残してください。

CE Certificate

This is to certify that the Fastime Copilote RWII fully conforms to the protection requirements of the following EC Council Directives: on the approximation of the laws of the member states relating to:

Directive 89/336/EEC Title Electromagnetic Compatibility

該当基準:

**Electromagnetic Compatibility
EN55022 (1994 class B)**

EN55024 (1998)

**Fastime Ltd, Station Road, Ashby-de-la-Zouch, Leicestershire LE65 2GL
United Kingdom www.astopwatch.com**

CE Certificate

Fastime Copilote RWII は、下記の欧州共同体のカウンシルが定める保護条件を完全に満たしていることを証明します。加盟国の近似の法律に近いものに関する:

Directive 89/336/EEC Title Electromagnetic Compatibility

該当基準:

Electromagnetic Compatibility

EN55022 (1994 class B)

EN55024 (1998)

**Fastime Ltd, Station Road, Ashby-de-la-Zouch, Leicestershire LE65 2GL
United Kingdom www.astopwatch.com**